

## トムス レクサス NX フロントスポイラー

このたびは、トムス フロントスポイラー(以下フロントスポイラー)をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。本製品の取り付け方法を以下に記します。正しい取り付けをお願いいたします。本取り付け説明書は、「自動車整備技能検定3級合格者」程度の方を対象に記述してあります。用語等で不明な点は、整備解説書等をご参照してください。なお、取り付け等に関するお問い合わせは、弊社技術までお問い合わせください。本製品の内容及び付属品は、改良のため予告無く変更することがありますのでご了承ください。

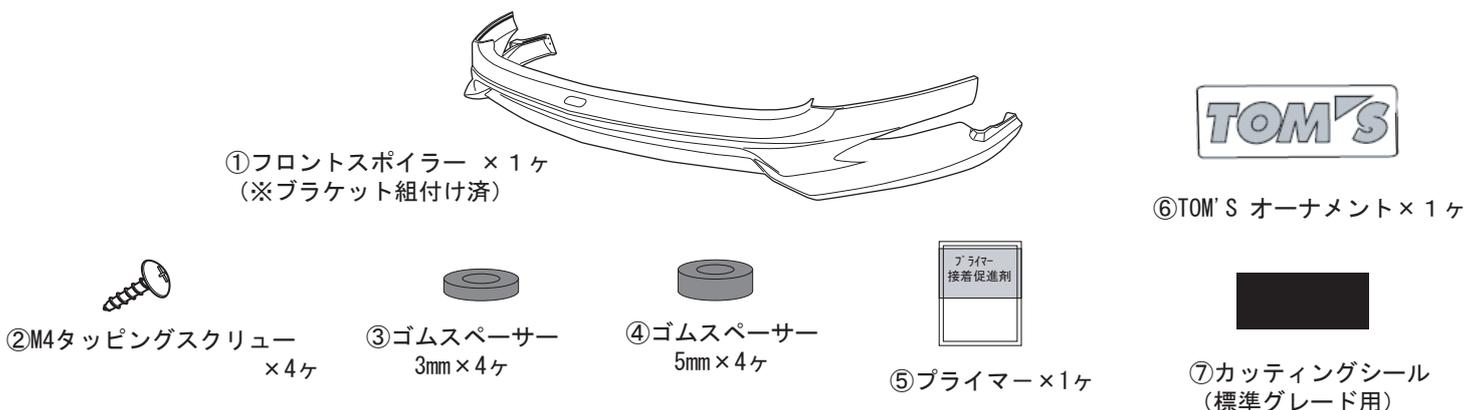
**適応車種** 本製品は以下の車種に対応しています。(2015年6月 現在)

適応車種
レクサス NX 200t/300h (AGZ1#, AYZ1#) 平成26年 7月～ ※Fスポーツグレードは、フロントロアバンパーモールを取り外す必要があります。

**取り付け上のご注意** 以下の注意を必ず守るようお願いいたします。

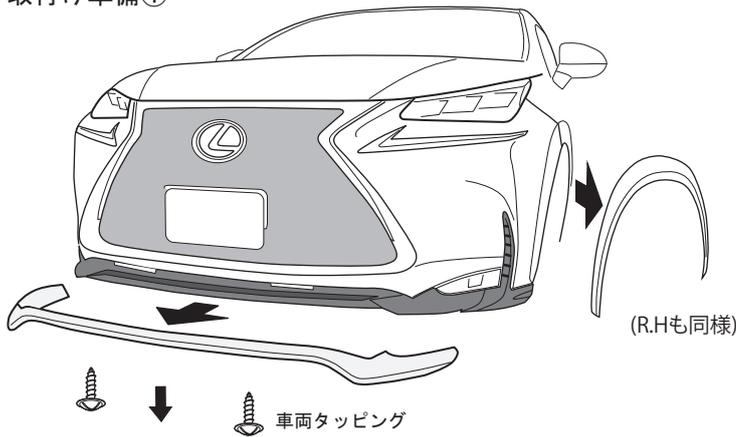
1. フロントスポイラー取り付け作業は、必ず作業員2人で行ってください。
2. フロントスポイラー脱落防止のため、両面テープは確実に圧着し、取り付けボルト等はしっかり締めてください。また、走行前にゆるみがないかチェックしてください。  
フロントスポイラーが脱落した場合は、重大事故につながる恐れがあります。
3. 車両をジャッキアップする際は、必ずリジットラック等で車両を固定してください。
4. 塗装に際しては以下の点にご注意ください。  
(詳しくは「フロントスポイラー素地品の塗装手順」を参照の事)  
⇒塗装乾燥の加熱温度は60度以下で行ってください。\*60度以上の加熱は製品変形の恐れがあります。
5. ビス取り付けの際は手締めを行ってください。電動ドライバー等を使用しますと部品を破損する恐れがあります。
6. 両面テープの接着力促進剤として、必ずプライマーを塗布してください。  
(詳しくは「3M PACプライマーN-200 取扱説明書」を参照の事)  
ボディーコート塗布車両は、プライマーの接着力促進効果を発揮できない場合があります。プライマー塗布面のボディーコートは塗装用コンパウンド(細目以上)で剥離し、アルコール等で拭き取り除去してください。
7. 両面テープの接着力は、気温が15℃以下になると低下します。両面テープ及び接着面を加熱器等で温めてから貼り付けを行ってください。
8. 両面テープの接着力低下防止のため、本製品の装着直後(24時間以内を目安)の洗車は行わないでください。両面テープの貼り直しをすると、接着力が極端に低下するため、貼り直しは行わないでください。
9. 純正用品及び他社製品との同時装着はできません。
10. フロントスポイラー装着により、標準バンパーより全長約42mm長くなり、地上高約27mm低くなります。
11. 本製品は車両登録後の取り付けを前提としています。登録前に取り付けをする場合は持ち込み登録となります。
12. 塗装済み品につきましては使用している材料の違い等により車両本体の色と完全に一致しない場合があります。

**構成部品** 本製品は以下のパーツで構成されています。欠品や破損等が無いことをご確認ください。



# 取付手順

## 1. 取付け準備①

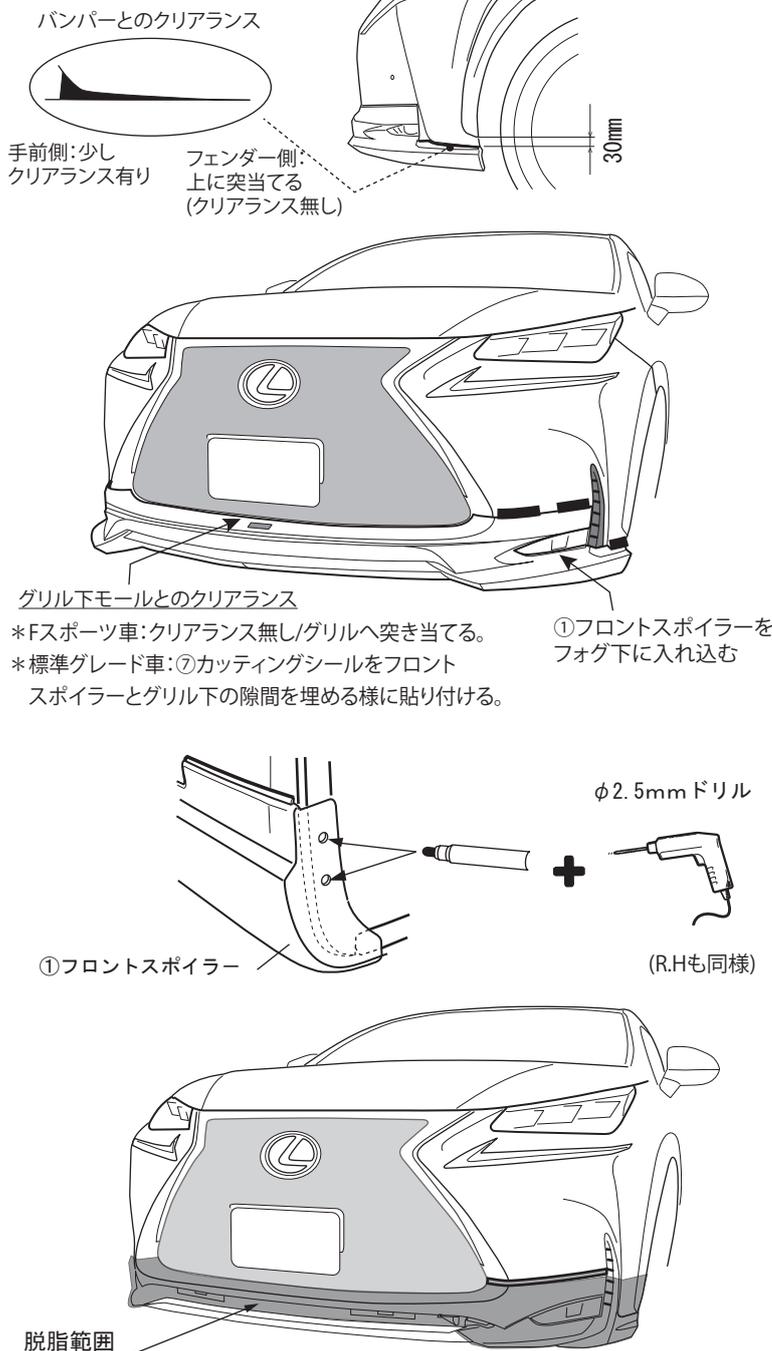


- 1-1. 純正フェンダーカバー（前側半分）を車両から外す。
- 1-2. 純正バンパーを取り外す。
- 1-3. フロントロアバンパーモールを取り外す。  
（取り外したフロントロアバンパーモールは再使用しない）

### アドバイス

- ※フェンダーカバー・フロントロアバンパーモールを取り外す際は整備マニュアルを参照して下さい。
- ※取り外した車両ビス・車両タッピングは再使用しますので、紛失しない様ご注意ください。
- ※フロントロアバンパーモールを取り外したら、純正バンパーとフェンダーカバーを取り付ける。

## 2. 仮組とプライマーの塗布



- 2-1. ①フロントスポイラーを車両バンパーにあてがい、フェンダーカバー端末からエンドモールまでの位置が直線距離で30mmになる所で位置を合わせ、取付け位置を決める。

### アドバイス

- ※仮組み時、バンパーにキズが付かない様にマスキングテープ等で広範囲に保護を行ってください。特にマスキングテープで突き当たり部を保護して下さい。
- ※ガムテープでスポイラーを固定すると作業が容易になります。
- ※グリル下とフロントスポイラーはクリアランスなし(Fスポーツ)、フォグランプ下は更に奥に押し込んで勘合を調整します。
- ※標準グレード車は⑦カッティングシールをフロントスポイラーとグリル下の隙間を埋める様に貼り付ける。

- 2-2. 取付け位置を確認し①フロントスポイラーのエンドモール上端に合わせ、タッチ面アウトラインをバンパーへマスキングテープでマーキングする。（左図参照）

- 2-3. フェンダーアーチ部の取付け位置を合わせてマーキングし、スポイラーを一度外してφ2.5mmの穴を2ヶ所空ける。

注意

スポイラーのエンドモールとバンパーの間に隙間が発生する場合の多くは、スポイラー位置に原因があります。スポイラーを約5mm範囲内で上下の位置、左右の位置を調整する。

注意

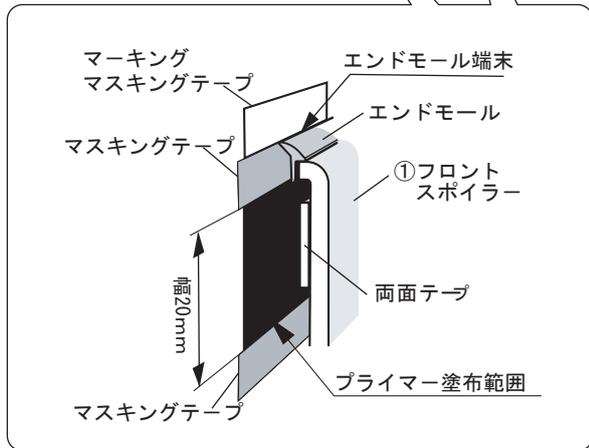
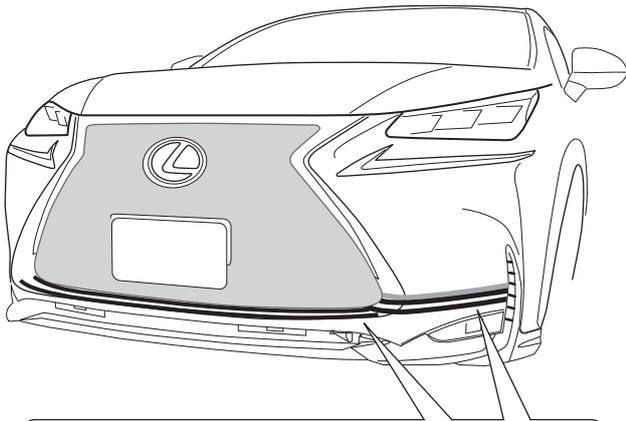
マーキングが正しく行なわれないと、フロントスポイラーが正しい位置に取り付けられず脱落の原因となる。

注意

穴を開ける時両面テープが、バンパーに面あたりしているか確認する。

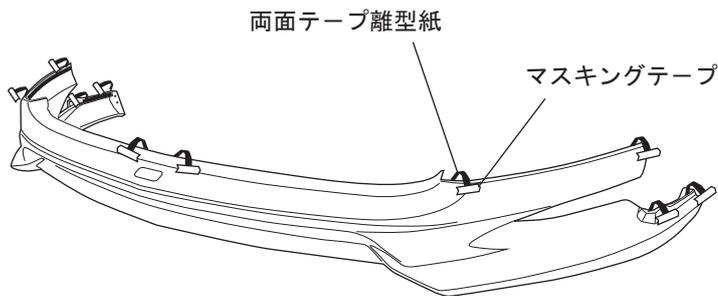
- 2-4. フロントバンパーのゴミ・ホコリをウエスで除き両面テープ貼付け部（左図斜線部）脱脂処理を行う。（左図参照）

## 2. 仮組とプライマーの塗布

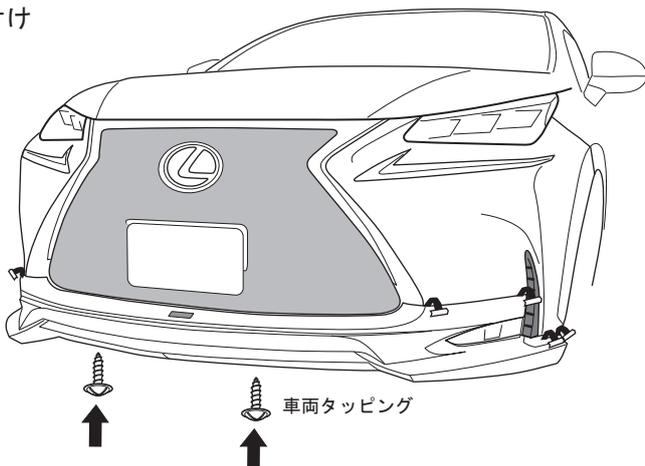


(R.Hも同様)

## 3. 取付け準備②



## 4. 取付け



2-5. フロントバンパーの両面テープ貼付け位置を確認し、プライマー塗布範囲をマスキングテープでマスキングする。

注意

脂分の付着は、両面テープの接着力が低下するため、接着面の脱脂処理は十分に行う。

2-6. マスキングテープに沿って塗布範囲にプライマーを塗布し、常温で10分以上放置して十分に乾燥させる。

注意

塗布範囲は、エンドモール端末からのみだしがないように気を付けて作業を行う。

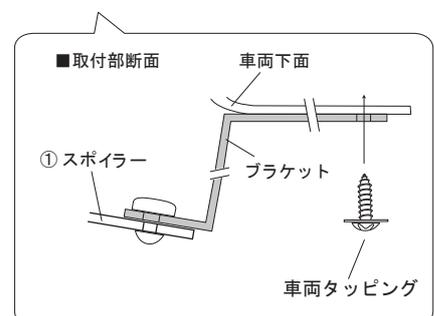
注意

プライマー使用に際しては、3M PACプライマー-N200取扱説明書に従い使用する。乾燥の標準状態：23℃で10分～3時間ほこり、汚れ、水滴が付着しないようにし、十分に乾燥させる。気温15℃以下では、加熱器を使用し温める。塗装面を黄変させる為、はみだしたプライマーはアルコール等で拭き取る。ボディーコート処理されている車両はマスキングをして両面テープ貼付け部分を塗装用コンパウンドで除去して下さい。

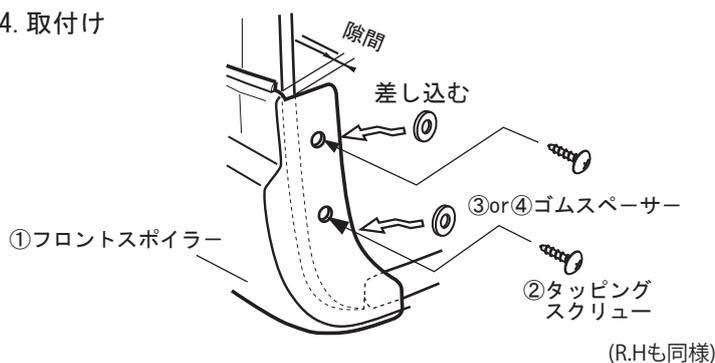
3-1. ①フロントスポイラーの両面テープ剥離紙を50mmほど剥がして折返し、マスキングテープで止める。

4-1. ①フロントスポイラーを車両バンパーのマスキングテープに合わせてあてがい、車両下部とブラケットを車両タッピングで仮固定する。(左図参照)

4-2. 取付け位置や左右バランスを確認する。



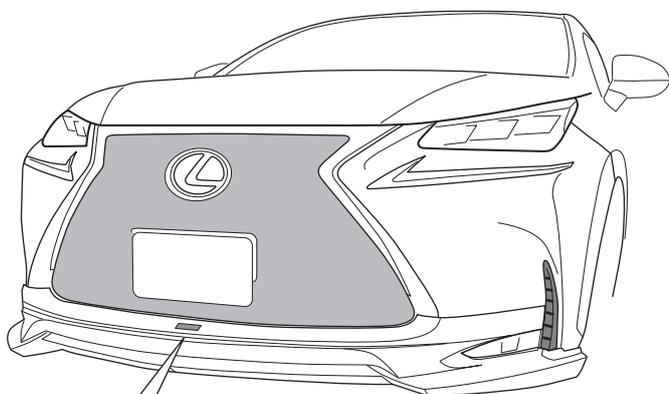
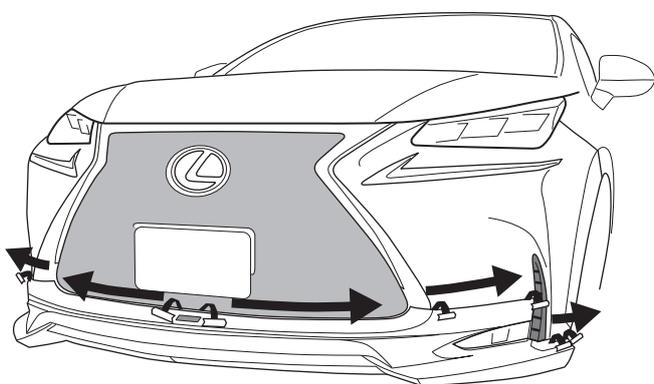
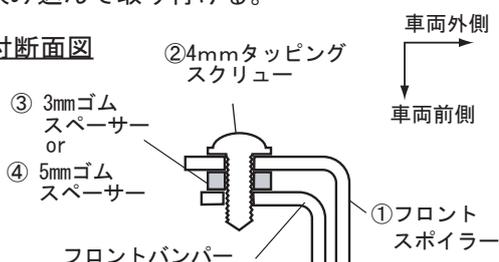
#### 4. 取付け



#### アドバイス

フロントスポイラーの増し締め作業の際にフェンダーアーチ部に隙間が発生する場合は、③④ゴムスペーサーのうち適したものを挟み込んで取り付ける。

#### 取付断面図



**TOM'S**

⑥TOM'S オーナメント

4-3. フロントスポイラーのフェンダーアーチ部は②M4タッピングスクリューと③④ゴムスペーサーで仮固定する。

4-4. 両面テープ剥離紙を車両中央から外側に向かって順に引き抜きながら圧着する。

#### アドバイス

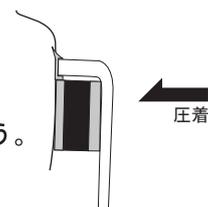
※剥離紙を引き抜く際に、①フロントスポイラーの取付高さが変わらない様に注意してください。  
 ※取付詳細図を参照し、矢視範囲で隙間が均等である事を確認して下さい。  
 ※剥離紙が途中で切れない様に、①フロントスポイラーを少し浮かしながら剥離紙を引き抜いて下さい。

#### 注意

両面テープの貼り直しをすると、接着力が極端に低下するため、ボディに付かない様に気を付けて作業を行う。

#### 注意

両面テープの圧着は、車両が少しゆれる程度〔49N(5kgf/cm<sup>2</sup>)〕で行なう。



#### 注意

フェンダーアーチ部のタッピングスクリューを締めすぎると、破損、変形の原因となります。また、圧着された両面テープに隙間を発生させる原因となる恐れがあります。

4-5. ①フロントスポイラーの浮き、剥がれがないかを確認し、再度両面テープの貼付け面を圧着する。  
 <重要>

4-6. 両面テープ貼付け後、3時間以上放置してから、上記仮止め部を本締めする。

4-7. ①フロントスポイラー中央部のオーナメント貼り付け部をしっかりと脱脂し⑥TOM'Sオーナメントを貼り付ける。

(お問い合わせ先)

㈱トムス

TEL 03-3704-6191

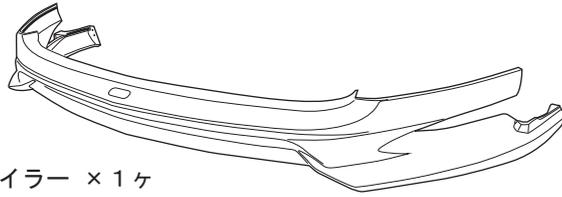
月～金 AM9:00～PM5:00

**TOM'S**

# フロントスポイラー素地品の塗装手順

※素地品は塗装の前に、必ず仮取り付けをし、各部に不具合がないか確認してください。  
塗装後のクレームには応じません。

## 構成部品



①フロントスポイラー × 1ヶ



⑥TOM'S オーナメント× 1ヶ



②M4タッピングスクリュー × 4ヶ



③ゴムスペーサー 3mm×4ヶ



④ゴムスペーサー 5mm×4ヶ



⑤プライマー×1ヶ



⑦カッティングシール (標準グレード用)



⑧エンドモール×各1ヶ (ブラック、グレー)

## I 塗装作業手順

1. 塗装面の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで取り除き、必ず脱脂をする。
2. サフェーサー処理を行う。
3. 塗装を行う。塗装乾燥の加熱温度は60度以下で行なうこと。

注意

本製品はABS樹脂製のため適切な塗料を使用する。

注意

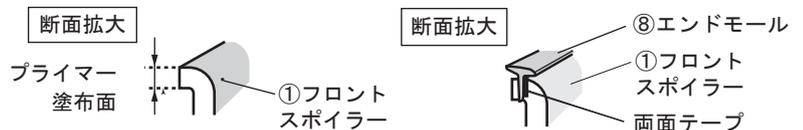
60度以上の加熱は製品変形の恐れがあります。

## II モールの貼り付け作業

1. 塗装終了後、モールを貼り付ける部分を脱脂し、⑤プライマーを塗布する。

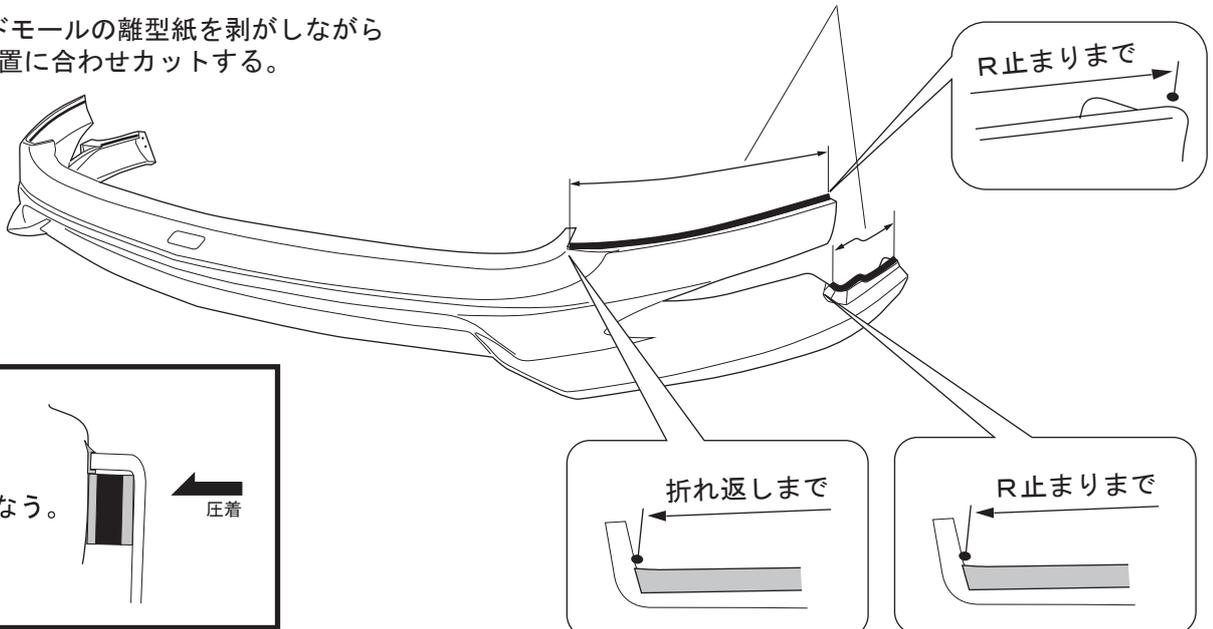
注意

プライマーが塗装面に付着すると、塗装を傷める為はみ出し等に気を付けて作業する。



2. 下図の要領で⑧エンドモールの離型紙を剥がしながら貼り付け後、指示の位置に合わせカットする。

⑧エンドモール 貼付範囲 (R.Hも同様)



注意

モールの圧着は、車両が少しゆれる程度 [49N (5kgf/cm<sup>2</sup>)] で行なう。

